

報道関係各位

2015年5月26日

創立 100 周年を記念して社会貢献活動を実施

— 日本赤十字社への車両・車いすの寄贈と交通遺児・被災地支援の寄付の 3 事業 —

株式会社ヤナセ(社長：井出 健義)は、5月25日に創立100周年を迎えました。これを記念して、同日、東京都千代田区の帝国ホテルに、駐日ドイツ大使、官公庁、国内外自動車メーカー、主要取引先、主要株主、社員 OB・OG など関係者約1千名をお招きして、「株式会社ヤナセ創立100周年記念式典・祝賀会」を開催しました。

式典では、100周年を記念した社会貢献活動として、1. 日本赤十字社への訪問看護車両・車いすの寄贈、2. 公益財団法人 交通遺児育英会への寄付、3. 宮城県仙台市「ふるさとの杜再生プロジェクト」への寄付を行いました。

概要は、以下のとおりです。

1. 日本赤十字社の活動支援

日本赤十字社(社長：近衛 忠輝、本社：東京都港区芝大門1-1-3)に、独ダイムラー社製乗用車『スマート for two coupe mhd パッション*』5台を寄贈しました。これらの車両は、旭川赤十字病院(北海道旭川市)、前橋赤十字病院(群馬県前橋市)、山口赤十字病院(山口県山口市)、今津赤十字病院(福岡県福岡市)、日赤安謝福祉複合施設(沖縄県那覇市)の全国5ヵ所で、訪問看護車として使用されます。

*『スマート for two coupe mhd パッション』 車両本体価格(税込み)：¥1,930,000

また、医療施設内移動用の車いす100台を、全国20ヵ所の日本赤十字病院に寄贈しました。

小清水赤十字病院、伊達赤十字病院、浦河赤十字病院、福島赤十字病院、芳賀赤十字病院
那須赤十字病院、深谷赤十字病院、小川赤十字病院、原町赤十字病院、諏訪赤十字病院
下伊那赤十字病院、高槻赤十字病院、舞鶴赤十字病院、長浜赤十字病院、大津赤十字病院
多可赤十字病院、柏原赤十字病院、姫路赤十字病院、三原赤十字病院、嘉麻赤十字病院

5月19日に日本赤十字社で開催された贈呈式では、ヤナセの井出 健義 社長が、近衛 忠輝 社長に、マスコットキーを手渡しました。なお、当社は、創立80周年時に血液搬送車として、オペル『アストラ ワゴン GL』10台を、90周年時に献血広報車として、オペル『アストラ ワゴン 1.8 CD』5台を同社に寄贈しています。また、創立95周年を迎えた2010年からは毎年、「ヤナセ・オリジナル防災キット」の売上の一部を継続して寄付し、同社の活動を支援しています。



【日本赤十字社で行われた贈呈式の模様】



【スマートの訪問看護車と車いす】

2. 公益財団法人 交通遺児育英会の活動支援

1世紀にわたって自動車販売を基幹事業としてきた企業の社会的責任として、交通遺児に奨学金貸与や学生寮利用を支援している、「公益財団法人 交通遺児育英会」に、当社として1千万円と、全国のヤナセグループ社員から任意で募った1,785,000円を寄付しました。

式典では、ヤナセの井出 健義 社長が、交通遺児育英会の石橋 健一 専務理事に、目録を手渡しました。



【帝国ホテルで行われた贈呈式の模様】

3. 宮城県仙台市「ふるさとの杜再生プロジェクト」を通じた被災地復興支援

2011年3月に発生した、東日本大震災で甚大な被害を受けた東北地方の被災地復興支援として、当社グループ会社の株式会社ヤナセ東北が所在し、半世紀にわたりご愛顧をいただいている宮城県仙台市に対して、同市主催の「ふるさとの杜再生プロジェクト」(仙台市東部地域の海岸公園の再整備および植栽)に、当社として1千万円と、全国のヤナセグループ社員から任意で募った1,619,500円を寄付しました。

式典では、ヤナセの井出 健義 社長が、宮城県仙台市の稲葉 信義 副市長に、目録を手渡しました。



【帝国ホテルで行われた贈呈式の模様】

当社は、自動車ディーラーの視点で、さまざまな社会貢献活動を推進しています。環境に優しい水性塗料を車体補修にいち早く導入するなど、環境貢献への取り組みのほか、プロ野球5球団を対象にした「ヤナセ・プロ野球MVP賞」の実施や「世界らん展日本大賞」への協賛など、お客さまとのコミュニケーション活性化をテーマにした活動も展開しています。今後も企業の社会的責任として、こうした社会貢献活動に取り組んでまいります。